

# 令和8年度 佐賀市立小中一貫校北山校 教育課程

## 1 学校教育目標

### 感謝・絆・全力

～小中一貫教育と各種交流活動によって主体的に学ぶ児童生徒の育成～

## 2 本年度の重点目標

「感謝」、「絆」、「全力」を合言葉に、9年間で子どものWell-beingの実現につながる主体性を育む。そのために、「小中一貫教育のシステムを活用」し、9年間で自分のことを自分で決められる児童生徒を育成する。モデルの存在が見通しをもたせ、異年齢での交流が経験値をあげる。9年生の卒業時を意識した、発達段階に応じた役割と判断の機会を与え、適切に承認することを繰り返しながら、自信をもって自分で考え、自分で決め、自ら動き出す子どもに育成する。また、「各種交流活動」を通じて、協力や合意形成の経験を積み、学級や学年の枠を超えた異年齢集団や、学校外の人との交流を通じてコミュニケーションスキルを身に付ける。実社会や生活につながる課題解決を通して、主体性を高めていく。

- ① 「感謝」…豊かな心【キーワード: 自他の生命尊重 他人を思いやる心=尊重】
  - 他者の命と自由を尊重し、話し合い伝え合いながら合意形成する力を育成する。
  - 地域や保護者、仲間の支えや思いに気づき、感謝する心を育てる。
- ② 「絆」…絆づくり【キーワード: 人間関係力の向上 ふるさとへの愛と誇り=創造】
  - 各種交流活動を通じて、多様な人々と意欲的に関わり、協働する力を育成する。
  - 地域連携行事を通じて、地域を知り、地域とつながって、ふるさとを誇りに思う心を育てる。
- ③ 「全力」…学力向上【キーワード: 基礎・基本(学習・生活習慣)定着、思考力・判断力・表現力向上、体力向上=自律】
  - 自分で考え、自分で決めるための言葉とスキルを身に付けさせるため、基礎基本を確実に習得させる指導の充実を図る。
  - 自分で決めて、自分で動き出す経験を積ませるために、言葉を増やし、自己決定の場面を多く設定した授業や体験活動の充実を図る。

## 3 重点取組内容

### (1)学習指導の充実

- 校内研究「気づき、考え、表現する児童生徒の育成」に則った授業改善、全体での実践
- ICT活用の推進と、家庭学習の充実
- 学力向上推進のための全国・県学習状況調査の活用
- 地域・ふるさとと関わる授業・活動の充実
- 複式学級、小中一貫教育の強みを生かした体力向上の推進

### (2)生徒指導の充実

- 全職員による月目標の話・重点指導
- WebQUや生活実態調査アンケートによる児童生徒理解、いじめ等の早期発見
- 年2回(6月、11月)の担任、児童生徒による指名する職員との定期相談の実施
- SC、SSWとの連携による教育相談体制の強化
- 児童生徒会の主体的な活動による自治的生徒指導

### (3)特別支援教育の充実

- 子ども支援会議を中心とした児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握・支援の充実
- 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の整理、利活用
- SC、SSWの活用による専門機関や保護者との連携の工夫
- 学習環境や授業のユニバーサルデザイン(UD)化の推進
- 講師招聘による特別支援教育の研修の充実

### (4)小中一貫教育

- 小中連携による乗り入れ授業、教科の専門的な指導の充実
- 児童生徒会活動、委員会活動、縦割活動による児童生徒のつながりの強化
- 中学部生徒による交流学びタイム(中学生が小学生に学習支援をする機会)の設定
- 小中連携の校内研究による教師の授業参観週間の設定
- 小中がともに過ごすランチルームでの給食指導

### (5)各種交流活動

- 発達段階に応じた、地域ボランティア「ひなたぼっこの会」の読み語り
- 教科横断的な資質能力を高めるブロック集会
- オーストラリアはじめ、アメリカのアリゾナ州、台湾等の海外との交流活動の推進
- 北部保育園との行事、富士町内幼保小連携会議での情報交換、及び生徒会による北部保育園交流
- 育友会・地域との連携による「ふれあいサマーキャンプ」と「ふれあい冬の北山まつり」の実施